

資料2 前時の展開

前時の学習 (23/25 時間)

- (1) ねらい カムロボで畑を周りを走らせるプログラムを考える。
- (2) 準備 ワークシート、掲示物、ichigoDyhook、ichigoDake、電子黒板、カムロボ、iPad
ホワイトボード
- (3) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 ◇評価項目<方法(観点)>
<p>1 前時までの学習内容を想起し、本時の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ichigoDyhookを使ってカムロボを走らせたり、Uターンさせたりした。 ・アグリロボが畑を耕すみたいに校庭を動いている様子を見た。 	8分	<p>○本時の学習課題のイメージをつかませるために、既習事項を確認する時、「まっすぐ進む」「左にまがる」などのキーワードを言わせる。</p> <p>○本時のめあてを児童から引き出すために、「アグリロボみたいにカムロボも動かしたいとっていましたね。ジグザク動かす前にまずはカムロボで畑の周りを走らせることはできないだろうか」と問いかける。</p>
<p>本時のめあて カムロボで畑の周りを走らせる方法を考えよう。</p>		
<p>2 班ごとにカムロボの動かし方を考え、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カムロボを走らせるには、まず、まっすぐ進む。次は左に曲がるかな。 <p>3 班ごとにプログラムを考え、実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カムロボが畑のはじめまで動かなかつたので、前に進む時間を変えよう。 ・右に曲がるの時間が長かったので、短くしよう。 <p>4 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとにどのように考えたか説明し、プログラムを実行する。 ・他の班のよいところ、改善したほうがよいところを共有する。 	29分	<p>○カムロボの動かし方を考えられない児童には、動きをイメージさせるために、畑に見立てた場所をカムロボになったつもりで歩かせる。</p> <p>○カムロボの動きを分解して考えられるように、ワークシートにカムロボの動きと「前に進む」等の言葉をかけるようにする。</p> <p>○目標としていた動きができない時は、プログラムを見直して原因がどこにあるのか考え修正するように促す。</p> <p>○プログラムを改善する場合は、どの動きをどのように改善したいのか記録できるようにする。</p> <p>○どのような動きにするためにプログラムを考えたか説明させるため、電子黒板にプログラムを提示する。</p> <p>○よりよいプログラムを考えさせるために、他の班のよいところ、改善したほうがよいところをアドバイスさせる。</p>
<p>◇班で協力して畑の周りを走らせるプログラムを組むことができる。<観察・ワークシート(知③)></p>		
<p>5 振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で、考えたことや頑張ったこと等をまとめる。 ・友達のアドバイスを受け、自分たちのプログラムをどのように改善するか考える。 	8分	<p>○班ごとの改善点を次の学習につなげられるように、ワークシートに記述させる。</p> <p>○次の学習で、どのような意図でどう改善したか発表させるために、プログラムの写真を撮る。</p>